

みんなで育てる福祉のこころ



1人は万人のために 万人は1人のために



第652号

発行日 毎月20日
定価一部 15円

※会員の購読料は
会費の中に含む

(一社)佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952 (32) 1243
ホームページアドレス : <https://sagarofuku.net/>

発行人 草場 義樹
編集人 待鳥 洋文

賀正



初雪と柿 (佐賀市)

2025年 あけましておめでとうございます。

旧年中は、労福協・各事業体の諸活動に対しご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年も労働者福祉運動と自主福祉事業の基盤強化及び運動の継承を図るため鋭意努力してまいります。

皆さんと共に「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会の実現」に向かって前進していきましょう。



有田地区 山口 弘	藤津・鹿島地区 中山 良純	杵島・武雄地区 平山 憲	伊万里地区 三原 隆広	唐津・東松浦地区 武野 智宏	小城・多久地区 轟木 信秀	佐賀地区 梅田 博文	神埼地区 古賀 敬宏	鳥栖・三養基地区 橋本 京介	監事 中川 広治	田中 雅子	小笠原 浩幸	田栗 多佳子	永石 亀	井手 美保子	吉原 昭治郎	吉田 真也	香月 健一郎	松尾 恭平	南里 徹	理事 夏秋 俊男	常務理事 矢ヶ部 教馬	専務理事・事務局長 待鳥 洋文	副理事長 井手 雅彦	理事長 草場 義樹
--------------	------------------	-----------------	----------------	-------------------	------------------	---------------	---------------	-------------------	-------------	-------	--------	--------	------	--------	--------	-------	--------	-------	------	-------------	----------------	--------------------	---------------	--------------

2025年 年頭のごあいさつ



佐賀県労働者福祉協議会
理事長 草場義樹

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆さまとご家族におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は33年ぶりに5%を超える高い賃上げ水準となりましたが、物価高騰に歯止めがかからず実質賃金は低下し続け、私たちの生活は厳しさを増しています。特に、年金生活の高齢者や低所得の子育て世帯などは家計の負担が厳しくなるばかりであり、これらによって懸念される格差と貧困、差別によって社会が大きく揺るがされることは絶対にあってはなりません。

労働組合が取り組む2025春闘では、大手組合と中小組合の賃上げ率の格差を是正すべく、取引の適正化や労務費も含めた価格転嫁をより一層進め、製品やサービスも含めた労働の価値を認め合う社会へと転換していくことが重要としています。

佐賀県労働者福祉協議会は、「福祉運動」と「労働運動」を車の両輪として進め、生活の安定・安心を求めるにあたり、労働組合、生協、労働金庫、こくみん共済coopと一体となって共助の輪を地域に広げ、SDGsがめざす、「誰一人取り残さない持続可能な社会」や、中央労福協の2030年ビジョンで掲げている「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きらせる持続可能な社会」の実現をはかってまいります。

さて、巳年は十干十二支の組み合わせによって5つの種類があり、本年の干支は乙巳(きのと・み)となります。

巳(蛇)に関することわざに「竜頭蛇尾(りゅうとうだび)」があります。これは、頭は竜のように立派なのに、尻尾は蛇のようにか細い様子を表しており、「始めは勢いが良いが、終わりは振るわない」ことを指します。そんなことにならぬ様に、対義語である、「終始一貫」をもって突き進んでまいります。結びといたします。乙巳は、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しています。皆さまにとってこの1年が素晴らしい年となりますよう祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

2025年 年頭のごあいさつ



労働者福祉中央協議会
会長 芳野友子

新年明けましておめでとうございます。

日本経済全体が落ち込む中で、光熱費や食品など生活に直結する分野の値上げが続いています。このなかで、2024年の年間出生数は初めて70万人を割り込むことが予想され、最悪のペースで少子化が進行しています。さらには「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するはずの生活保護費も段階的に削られ続けるなど、格差や貧困、社会の分断が深刻化しています。

このような今こそ、私たちは、生活困窮者支援の取り組みや、ライフサポート活動、こども食堂の取り組みなど、地域の様々なネットワークで支え合い助け合う、地域共生社会の構築をめざした取り組みを、力をあわせて進めていかなければなりません。

高等教育の負担を軽減するについては、「すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロ

ジェクト」の取り組みに結集し、「団体賛同・個人署名」の取り組みを進めてきました。多くの方々にご協力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

通常国会では大学等修学支援法の改正が見込まれています。私たちはこれを機に、修学支援制度の対象範囲の拡大など、高等教育の負担軽減をもとめて、取り組みを強化していきます。

また、今年が国連の定めた国際協同組合年です。改めて労働者自主福祉運動や協同組合運動などの共助の輪を広げるとともに、NPOや市民団体などともつながり、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高める取り組みを、ともに進めていきましょう。

最後になりますが、2030年ビジョンにおいて確認した「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きらせる持続可能な社会」を実現するための取り組みを、組織の枠を超えて、労働者自主福祉の取り組みを展開していくことをお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

以上

2025年 年頭のごあいさつ



九州労働金庫佐賀県本部

本部長 井手雅彦

明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私ども九州ろうきんにおきましては、本年も働く皆さまの夢と共感を創造する福祉金融機関としての使命を果たすとともに、金融業界のますます激化する厳しい競争環境のもと、預金・融資とも苦戦しつつも役職員一同一致結束して、会員・組合員の生活の維持・向上に向け邁進する所存です。本年もどうぞ変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

本年2025年は戦後80年の節目を迎える年です。もうあの戦争を実体験された方は残り少なくなっているのではないかと思います。この間、日本は一度たりとも戦争に巻

き込まれたこともなく、もちろん内戦も起きていません。80年もの間、戦争に関わったことがない国(意見は色々あるでしょうが)は、そう多くないと聞きます。戦禍のない現在の平和な日本を築き上げられてきた多くの方々に感謝し、恒久平和を願うばかりです。

さて、昨年2024年は金融機関にとって変革の年となりました。実に17年ぶりに日銀の政策金利が引き上げられ、金利のある世の中になりました。金利が上がるのが良いのか悪いのかは人それぞれでしょうが、預金するにせよ借入するにせよ、資産運用もそうです、今後は金利上昇を見据えた対応が必要になるのだらうと思います。

いずれにせよ、どのような時代にならうとも九州ろうきんは、福祉金融機関としての役割を果たすとともに、すべての会員・勤労者・生活者の期待や信頼に応えられるよう役職員一丸となって、「ろうきん運動」のさらなる推進に取り組んでいきたいと思ひます。本年が皆さまにとって健康で幸せに暮らせる素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

2025年 年頭のごあいさつ



こくみん共済coop佐賀推進本部

本部長 宮崎啓二郎

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、こくみん共済coop佐賀推進本部の事業推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一番記憶に残っているのは、元旦の能登半島地震ではないでしょうか。家族で迎えていたお正月に、震度7の地震が襲うとは誰も予想だにできなかった事であり、いかに自然災害が人間社会の都合に関係なく襲ってくるかという事を改めて気づかされました。

さらに豪雨災害も全国各地で多発し、能登では復旧も十分でない状況での豪雨災害で、さらなる被害をもたらしました。被災により亡くなられた方、被害にあわれた方に心

よりお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、そして復興を願ってやみません。

台風被害においては、九州南部で大きな被害が出ましたが、「幸い」という言い方が正しいかはわかりませんが、佐賀県内では大きな被害が無かったのは何よりでした。台風被害は、「近く」に来るから危ないというのが一般的と思ひますが、近年の台風被害は「遠く」離れていても、甚大な被害をもたらしています。いつ・どこでも被害があることを認識して、しっかり備えることがより重要になっています。

自然災害はそれ自体を止める事はできませんが、十分な備えを行う事で被害を防いだり、減らしたりする事は可能です。また、被災後の復旧・復興に備える事も大切であり、そういう意味では、我々の共済業務が益々重要になってきていると感じています。その責任をしっかりと自覚して、皆さまの暮らしに寄り添い、共済制度のさらなる充実に向けて、「たすけあいの輪」を広げていきたいと思ひています。

今年は巳年、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年と言われています。皆さまにとって、素晴らしい一年になることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2025年 年頭のごあいさつ



佐賀県生活協同組合連合会

会長 中原龍彦

新年あけましておめでとうございます。2025年の始まりにあたり、佐賀県生活協同組合連合会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

まず、全国的に不安定な経済状況が続く中、佐賀県労働者福祉協議会様に置かれましては、佐賀県内の労働者の生活向上と地域社会の発展に寄与されていることに敬意を表します。

コロナ禍以降、物価高騰や社会的な不安が広がるなかで、私たち生活協同組合の役割はますます重要になり、これまで以上に地域の皆さまの生活支援に努めていかなければならないと感じています。

2025年の日本経済に目を向けると、物価上昇の影響は依然として続いています。特に日常生活に密接に関わる食品やエネルギー価格の上昇が多く、家庭に負担を与えています。

また、低賃金問題や非正規雇用の増加といった労働環境の課題も解決が進んでおらず、働く人々の生活の安定には多くの課題が山積しています。労働環境の改善や所得格差の是正に向けた取り組みの強化が必要で、佐賀県内の皆様が安心して暮らしていける環境づくりに少しでも寄与できる活動を進めてまいりたいと思ひます。

また、地域社会の持続的な発展には、共生と連帯の精神がますます重要です。少子高齢化や人口減少が進む佐賀県においては、地域の絆を深め、地域全体で支え合う体制が必要です。私たち佐賀県生活協同組合連合会は、協同組合のネットワークを活用し、地域の皆さまの暮らしを支えていく活動を続けていきたいと考えています。こうした活動を、労働者福祉協議会の皆さまと連携しながら、ともに持続可能な社会の実現を目指していきたいと思ひます。

私たち生活協同組合はこの一年を通じて、組合員や地域の皆さまとともに、共に支え合う価値を再確認し、労働者福祉協議会の皆さまとともに、地域に根ざした活動を一層進めていきたいと思ひます。

皆さまにとっても、2025年が健康と平和に満ちた充実した一年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

チャリティゴルフコンペのチャリティ募金を「フードバンクさが」へ寄付

2024年11月8日(金)、多久市の天山カントリークラブで開催した「第27回チャリティゴルフコンペ」のチャリティ募金(127,000円)について、2024年12月9日(月)に佐賀市の「特定非営利法人 フードバンクさが」へ寄付しました。

「フードバンクさが」では、生活困窮者支援団体と共同して、2021年よりクリスマスケーキを1人親家庭へプレゼントされています。今期もクリスマスケーキを心待ちにしている子ども達が多くいることから、寄付先に選定しています。

「フードバンクさが」の鍋田事務局長より、「希望の全世帯(226世帯)にクリスマスケーキを届けることが出来るように大切に使用させていただきます。」と謝辞を頂きました。



無料年金相談会日程

佐賀県労福協は県内勤労者とそのご家族の生活支援を目的に、社会保険労務士による無料年金相談会を毎月1回開催しています。年金制度は複雑で、ひとそれぞれに内容が異なることから、年金に関することを社会保険労務士より親切・丁寧に説明します。ぜひこの機会にご相談ください。

社会保険労務士による無料年金相談会開催日程(要予約)

予約はこちらから→



2025年2月13日(木)午後4時30分～6時30分 ※2025年3月以降も開催します

相談事例

- 年金請求書の書き方が分からない?
- 年金の仕組みは?いつからもらえる?
- 日本年金機構から届いた書類の見方が分からない?
- 年金を早く受け取るとどうなる?
- 遅く受け取るとどうなる?
- 国民年金は追納した方がいい?
- 年金手続きのあと働き続けると私の年金はどうなる?
- 配偶者が年金を受け取ると私の年金はどうなる?

0120-931-536

無料法律相談会開催日程(事前予約が必要)

第147回 2025年 2月 9日(日) 午後1時～4時

第148回 2025年 3月 9日(日) 午後1時～4時

*2025年4月以降も日曜日に開催します。

新住まいの共済

火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

今こそ「住まいの保障」を見直しませんか?

WEBから

お見積もり・お申し込みはこちら



窓口から

ご相談はこちら

共済ショップ 佐賀店

0952-41-1331

【受付時間】

月～金 9:00～17:00
第2・第4土曜日 10:00～16:00
【定休日】
第2・第4土曜日以外の土・日・祝

加入者の声①

手頃な掛金が決めでした!

古い家を所有しています。今まで加入していた保障の金額(掛金)が更新以降から上がると言われ、困っていました。こくみん共済coopの住まいる共済は毎年数に聞わず、同一の掛金なので、安心して加入することができました。



加入者の声②

加入していて本当に良かった!

令和6年能登半島地震で被災しました。共済ショップで勧められた住まいる共済に加入していて本当に良かった。地震の被害の調査も家の中と外の両方を丁寧に時間をかけて見てくれた。



こくみん共済 NEWS

「こくみん共済coop」は密利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

41248004

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意事項記事情報)」を必ずご確認ください。

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

佐賀推進本部(佐賀県労働者共済生活協同組合)